

4. 議題

今回の番組審議委員会は、5月21日（日）放送分（毎週日曜日 午前10時～午後3時まで放送）「AIによる放送 ※★」と、6月16日（水）午前10時30分から（毎月第3金曜日 午前10時30分放送）林みづきナビゲーター担当のコーナー番組「キンゾー通信 ※☆」を聴取して審議に入った。

※今回の番組審議委員では、委員に番組内容の資料を事前に渡さず、予備知識のないまま聴取した。

★「AIによる放送」

オープニングトーク、クマの目撃情報（修正前と修正後）、ニュース（修正前と修正後）、エンディングトーク

☆「キンゾー通信」

国府町の魅力を発信する。こくふ町まちづくり協議会の方に協力頂き、地域の活動や国府町で開催されるイベント情報をお届け。毎回様々なゲストの方に出演頂き、これまでに国府町出身の高山駅長や、高山警察署国府駐在所長などから話を伺った。今回は、国府町を「E-バイク」で周回するツアーを企画、運営している杉山知子さんにインタビューした内容を放送。杉山さんは国府町出身ではないが、国府町に魅力を感じ国府町で今回のツアーを企画したという。

コーナー内で伝えきれなかった杉山さんの思いやツアー詳細は、コーナー後のフリートークで紹介している。

5. 審議内容

会社側：	審議に入る前に前回の番組審議委員会での意見に対する回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の説明をした。
大萱委員長：	只今、聴取した番組についてでも結構だし、普段聴いている番組等で感じていることでも結構なので、皆さんから意見を頂戴したい。
大上委員：	「AIによる放送」について、先日、家で聴いていてその時は男性の声だったが違和感もなく、もちろん間違えることもないので大変聴きやすいと思った。 紹介の仕方では「自動放送」と言っているが、最近「AI、AI」と言っているので、「AIによる放送」という言い方のほうが分かりやすいと思った。会社側から「クマの目撃情報」と「ニュース」の修正前と修正後についての説明があったが、数字の読み方で、修正前は面白いイントネーションだったので、やはり修正が必要になると思った。修正後は聴きやすくてよかった。 「キンゾー通信」は、こくふ町まちづくり協議会の「キンゾー」という

	<p>キャラクターを思い浮かべながら聴いていたが、丁度先日の日曜日、Eーバイクの体験ツアーに参加した。最初の紹介部分で、杉山さんの会社名（フライング・ピークス）が聴き取り難く誰なのかわからず、だんだん聴いてわかってきた、最後にも杉山さんの紹介があったが、最初で杉山さんの会社について、杉山さん自身の紹介をする流れにした方が、人の紹介は大事なところなので、最初に丁寧に伝えて欲しいと思う。最後の紹介も、杉山さんの紹介のみならず、お問合せ先などの紹介があると良かったと思う。またBGMが少し大きいのが気になった。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>ゲストなど、相手の紹介に関して、先回も「スキマ研究放送局」のコーナーでも指摘を受けているし、その前の番組審議委員会でも指摘を受けている気がする。改善されていないのか、忘れてしまっているのか分からないが、その辺りはしっかりと対応して欲しいと思う。</p> <p>また、最初のみならず聴き逃した方の為にも、所々、紹介するのもよいのではないかと思う。</p> <p>A I 放送だが「自動放送」と言うよりも「これはA I がしゃべっています」とか、敢えて言ったほうが面白いと思う。</p>
<p>松川 委員：</p>	<p>「A I による放送」の「クマの目撃情報」は、修正前と修正後を聴き比べると、電話番号のイントネーションの違いがよく分かった。しかし、「ニュース」は、個人的に修正前と修正後では、あまり変わっていない感じがする。一つ聞きたいのだが、日曜日は1日中A I 放送なのか？</p>
<p>会 社 側：</p>	<p>ニュースや天気予報など、情報が変わるものは、A I による放送だ。内容が事前に決まっているものは、ナビゲーターが事前収録し、紹介している。後は、平日放送したものを再放送している。</p>
<p>松川 委員：</p>	<p>ずっとA I で聴いているのは疑問を感じる。たまにはナビゲーターのフリートークを挟んだりすれば安心感があると思う。A I だと無機質なので「おもしろさ」がない感じがする。たまに噛んだり、間違いがあった方が人間味があって良いと思う。</p> <p>「キンゾー通信」は、最初のナビゲーターの紹介が聴き取り難く、あとから「Eーバイク」と言っているのが分かったが、自身「Eーバイク」が何なのか分からなかったのも、初めに「みなさんEーバイクってご存知ですか」などの説明があるとよかった。杉山さんが紹介していた申し込み方法等がわかりづらかったのも、ナビゲーターが繰り返して紹介するとか、フォローがあっても良いと思った。また、自身が聴き逃しただけかもしれないが「Eーバイクは持っていないでもレンタルで借りられる」とか「購入金額はいくら位」などの情報が欲しいと思った。この自</p>

<p>大上 委員:</p>	<p>転車は電動機付き自転車なのか？ 少し補足して言うと、E-バイク (e-bike) は、スポーツバイクに電動アシストユニットを取り付けた自転車だ。突然「E-バイク」という言葉が出たので、わからない人も多いと思う。杉山さんによると「E-バイク」は、外国人には伝わるが、日本人にはあまり馴染みが無いらしいとのことだ。また「E-バイク」は、こくふ町まちづくり協議会に問い合わせれば、レンタルできることも、はっきりとしたことは分からないと言っていたような気がした。</p>
<p>松川 委員:</p>	<p>そのあたりの説明が欲しいと思った。</p>
<p>大萱委員長:</p>	<p>私自身も「E-バイク」がよく分からなくて、もしかしたら「電動アシスト付き自転車」のことかと思ったが、自身も含め知らない方が多いと思う。しかし「E-バイクのことは知っているだろう」という感じで紹介していた。「皆さん知っているから説明が要らない」というのではなく、知らない方がいることをあらかじめ考えながら丁寧に説明することが大事だと思う。</p>
<p>渡邊 委員:</p>	<p>「AIによる放送」について、自身が思っていたよりスムーズに放送をしていたと思った。修正前と修正後を聴き比べても、数字ははっきり違いが分かるが、他の部分は、AIと言わなくても違和感なく聴くことができた。ニュースについては文章が多いので、修正する難易度が上がっていくのかなと感じたが、こちらもスムーズに聴くことができた。しかし報告にもあった「緊急時にもAIで対応する」ところは、迅速に伝えなければいけないので、迅速に情報を出せなかったり、間違えた情報を出してしまいそうになったり、そのあたりを心配している。</p> <p>「キンゾー通信」は、他の委員同様、説明不足で流れが唐突な感じがした。例えば「このコーナーは国府町の話をお送りするキンゾー通信」というような前置きがあるとわかりやすいと思ったし、コーナー開始時に紹介しているかもしれないが、その都度紹介したほうがわかりやすいと思う。放送の雰囲気はいい感じがして、観光客も地元の方も「申し込みをしたいな」という気持ちになるのではないかと思った。</p>
<p>大萱委員長:</p>	<p>「緊急情報もAIで迅速に対応する」ところで、情報を入力するよりもしゃべったほうが速いのではないかと思うが、考え方を教えて欲しい。ナビゲーターが到着するまで、スタジオにいるスタッフが繋ぎで紹介して、後ほどナビゲーターが紹介するのか。緊急情報が入ったら、最初から情報を入力して修正して放送するのか。入力して修正して放送するくらいなら、しゃべったほうが速いと思う。</p>

<p>会 社 側：</p>	<p>日曜日の放送時間帯に限って言えば、緊急情報はナビゲーターを招集する間、繋ぎでA Iが紹介し、ナビゲーターが到着したらナビゲーターが情報を生放送で伝える流れだ。日曜日に限っては、制作社員1人、もしくは制作社員1人、事務所1人体制でやっている。委員長のご指摘通りだが、日曜日に限っては人手が足りない状況である。台風や大雨は事前に分かるので、速く招集できると思うが、本当に緊急を要する地震情報などは、1つの方法として、高山市役所からの割り込み放送で対応するようにしている。最近は、新型コロナウイルスの影響で訓練ができていないが、割り込み放送も可能だ。割り込み放送の間に、スタッフ、ナビゲーターを招集して体制が整ったところで、切り替えて放送することも考えている。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>緊急の度合にもよるが、最悪な想定も考えなくてはいけない。現在はスマホで緊急地震速報などすぐに情報は入ってくるが、地元のコミュニティエフエム局としてしっかり伝えなければいけないと思う。だが、最悪な状況という、ナビゲーターが局に来られないことがあるかもしれないし、そうすると、今、スタジオにいるスタッフで情報を伝える、またはA Iで伝えることも非常に有効だと思うし、その辺りは体制を決めてしっかり伝えて欲しいと思う。</p>
<p>原 委 員：</p>	<p>「A Iによる放送」は、私が「次回の番組審議委員会の聴取する内容はA I放送にして欲しい」と提案して、今回実現し審議委員の皆さんにも聴取してもらい良かったと思う。緊急時の対応については、課題もあるが、少しずつ改善して欲しいと思う。A Iによる放送は「A I」と言われなければ違和感なく聴けると思う。あえて番組中、頻繁に「A Iによる放送です」と言ってもよいと思う。自身の店（原委員は自転車店を経営）で、日曜日も店内で流していて、番組の流れとしては、A Iでインフォメーションを紹介した後、音楽が流れて所々に再放送を入れている感じだが、A Iによるインフォメーションだけではなく、ナビゲーターによるコーナーの再放送も入れたほうが聴き飽きることがないと思う。ただ、日曜日は音楽のジャンルが偏りすぎているような気がする。（ジャズや懐かしい曲が多い）</p> <p>「キンゾー通信」は、今回の内容がEーバイクだったので、興味深く聴いていたが、他の委員同様「Eーバイク」って言葉を知っているのかどうかというのは、プロにありがちなのだが「説明しなくても知っているだろう」ということで「Eーバイク」と言ったと思うが、知らない方も多いと思うので、「Eーバイクはどのようなバイクなのか」ということを、まず説明すると良いと思った。また、ゲストの紹介や会社名なども</p>

	<p>含め、ゆっくり紹介したほうがわかりやすい。特に会社名は最近、外国語や少し長い社名が多いので、ゆっくりわかりやすく紹介した後、代表者ならびにスタッフの紹介を最初に説明すればわかりやすいのかなと思う。</p> <p>私は自転車店を営んでいるので少し説明したいのだが「E-バイク」というのは、電動アシスト付き自転車のことだ。元々ヨーロッパで「E-バイク」と言っているが、このバイクが逆輸入されている。日本では普通の自転車も「電動アシスト付き自転車」と言われているが、海外で有名になったのが「マウンテンバイク」に電動のモーター、アシストを付けたものが「E-バイク」と言っている。先ほど他の委員も言っていたが、スポーツ系のマウンテンバイクで変速機がついているものが一般的だ。その辺りが日本で言う「電動アシスト付き自転車」とは違うので、やはり説明が必要だと思う。自身の店は自転車のレンタサイクルもやっているが聞かれるのは「E-バイクありますか？」とか「電動アシスト付き自転車ありますか？」という2つの問い合わせがくる。たいてい日本人は「電動アシスト付き自転車ありますか？」と聞いてくる。従ってその辺りは説明した方が良い。</p> <p>また、国府町でE-バイクをやるのは、条件的に適していると思う。旧高山市街地では適した場所がない。今も行政の職員から問い合わせがあるが、旧高山市街地でE-バイクをやるのは難しいと思う。なお、飛騨市古川町も条件的によい場所が多い。E-バイクでは無いがクロスバイクやマウンテンバイクで、サイクリングというか「自転車散歩」ができる場所がある。旧高山市は生活道路が多く、迷惑に思う住民が多いと思う。国府町や古川町は少し外れた地域だと田んぼや畑が多く、車もそれほど通ることがないので、E-バイクがやりやすいと思う。先日も外国人に自転車で「田んぼがみたい」「米を作っている場所に行きたい」と言われた。外国人にとって興味があるみたいだ。その辺りが外国人と日本人とは興味を持つところが違う。なので、このツアーもうまくやれば面白いと思う。</p>
大萱委員長：	将来性のあることについて、林ナビゲーターは、タイムリーな話題を取り上げていると思う。
原 委 員：	今後、E-バイクの「反響」についての報告もあるとよいと思う。自身の店も相乗効果につながるかもしれない。
大萱委員長：	「キンゾー通信」は、林ナビゲーターの企画か？こくふ町まちづくり協議会がスポンサーの番組か？

会 社 側:	林ナビゲーターの企画だ。林ナビゲーターが国府町に住んでおり、国府町を盛り上げたいというか、身近な話題を伝えているようだ。他の地域でも問い合わせがあるかもしれないので、先日、丹生川町や荘川町へ出向き、提案をしてきたが「検討する」にとどまった。また、林ナビゲーターには小さい子どもがいるので、育児、子育て関係、まちづくり協議会の情報などについて事前収録している。審議委員会の皆様のご指摘の通り、最初に前置きが必要なのかなと感じた。
大萱委員長:	各ナビゲーターの出身は、色々なところからなのか？
会 社 側:	他の地域出身のナビゲーターがいるが、旧高山市出身者が多い。
原 委 員:	以前、色々な地域の話題を一般の方が紹介したことがなかったか？
会 社 側:	以前は市町村合併前に各役場の職員に持ち回りで出演してもらったり、こちらから伺い、イベント情報やその他の情報を、今より多く紹介することができた。現在は各支所になったので、以前よりお届けする情報が少ないかもしれない。ただ、今後、各支所地域に積極的に伺い、情報を紹介したいと考えている。
原 委 員:	ヒッツFMに「サポーター」みたいな一般人が、電話インタビューでもよいので定期的に情報を発信してもらおうとか、例えば、上宝町に住んでいる人が上宝町の情報を集めてきて、電話などで紹介するのも面白いのかなと思う。
大萱委員長:	「地域サポーター」だね。参考にして欲しいと思うし、最初は身近なところから、例えば「商店街のサポーター」ということで、原委員が担当するとか。身近な人とは話がまとまるので、すぐ実現できると思う。これが、支所地域となるとなかなか話が進まないし、あっても限られた人になってしまう。
原 委 員:	話が同じような内容になってもつまらないと思うので、新しい話題がどんどん出せる人がいるとよいと思う。
大萱委員長:	ナビゲーターの特性も生かしながら、うまくミックスしながら紹介して欲しいと思う。
松川 委員:	報告で「現在ナビゲーターを研修中」と記載しているが、どのような人か？また経験者か？

会 社 側:	女性は三重県出身で、高山に嫁いでいる。経験としては葬儀屋の進行役をしていたとか、市議会議員選挙の際にウグイス嬢を経験していた。男性は、現在、飛騨市古川町に住んでいて、元々学校の先生で校長まで勤め、定年退職後、ナビゲーターに興味があり応募されたとの事だ。二人とも、デビューは10月改編に向けて研修している。 本日も貴重な意見を頂き大変ありがたい。会社に持ち帰り、番組向上に繋げたい。
--------	---

6. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日（答申又は意見の内容及びその年月日を併せて記載すること。）

令和5年7月18日（火）番組審議委員会の席上で説明

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法（自社ホームページ <http://www.hidanet.ne.jp/~hitsfm>）

公表の内容 第90回番組審議委員会開催の議事録

公表年月日 令和5年8月14日

8. その他の参考事項

次回開催時期：令和5年9月下旬

次回開催場所：飛騨地域地場産業振興センター